

2019年度 事業・活動報告

2019年度の事業は、法人設立10周年を機会に全国のファンドレイザーや会員の皆さまと対話を繰り返しながら作成した「10周年宣言」とその実現に向けた2030年までのロードマップ「セオリー・オブ・チェンジ2030」に基づき計画、実行した。詳細な活動報告は後述に譲るが、以下の主要なアウトカムごとに今年度の事業を実施してきた。

- 1. 想像を超えた新たな資金循環を生み出すチャレンジが誘発され、成長している**
 - ・ ファンドレイジング・日本を「場」の熱量により参加者の意識変容、行動変容を促す（チャレンジを誘発する）システムと位置付け、FRJ2019に向けて具体的な仕掛けを検討し実行。
 - ・ ファンドレイザーのチャレンジの可視化、応援の仕組みとしてのサロン事業を推進。
- 2. 寄付者自身が、寄付を「成功体験」や「自身の幸せにつながる」と感じる状態が実現している**
 - ・ 社会貢献教育が子ども達や社会に与える社会的インパクトを明らかにし、その結果を広く発信していく仕組みづくり。
 - ・ 寄付白書2021の出版に向けた準備を開始。
- 3. 次元の異なるスケールの資金循環が生み出せている**
 - ・ 遺贈寄付推進のためのエコシステムを強化。
 - ・ 多様で新しいプレーヤーの参画による資金循環の創出として、ファミリー財団の設立支援の仕組みの検討を開始。
 - ・ 大きな社会のお金の流れを作るための仕掛け作りとして、社会性評価・認証制度構築などの新たな仕組みづくりに着手。
- 4. 寄付・社会的投資の成長のためのエコシステムが枠を超えて構築されている**
 - ・ SDGs時代におけるファンドレイジングの意味や意義を明確化した上で、その促進を事業を通じて行なっていく。
 - ・ 寄付・社会的投資推進のための政策提言を、ソーシャルセクターだけでなく経済団体とも協調して行なっていく。
 - ・ グローバルネットワークとのアライアンスを強化し、課題「解決」先進国として日本がリーダーシップを発揮できる状態に貢献（APFとの連携、社会的インパクト投資の国際ネットワークなどへの積極的な参画）
- 5. 社会のお金の流れを生み出すプロフェッショナルが活躍できている**
 - ・ ファンドレイザーの裾野と活躍の場を広げるために、研修の新規開発や新たなキャリアパスの構築に着手。
 - ・ ファンドレイザーや社会貢献教育ファシリテーターの認知度向上のためにリブランディングや表彰制度の検討を開始する。

1. ファンドレイザー育成事業

1) 資格制度・研修・チャプター制度

年間を通して、日本全国各地で地域にしながらファンドレイジングを学び、資格を取得できる状態の構築を目指し、地域チャプター（北海道・東北・関西・東海・静岡・中国・九州）と共に、准認定ファンドレイザー必修研修、選択研修、試験の実施まで一気通貫の場を創出した。また、各専門領域におけるファンドレイジングの普及を目指し、テーマ別チャプター（アート・福祉・グローバル・大学）の自主勉強会、認定講師・パートナー団体による研修をポイント付与研修とし、549ポイント分（549時間分）の学びの機会が実施された。主な実績は以下の通りである。

- ・ 准認定ファンドレイザー必修研修は、9つの都道府県で、合計20回開催し、531名が参加した。
- ・ 准認定ファンドレイザー試験は、5会場で実施し、過去最高となる384名の方がチャレンジした。
- ・ 2020年3月末日時点での資格保有者は、認定ファンドレイザーが136名、准認定ファンドレイザーが1,183名で、合計1,319名となった。

※研修実績は別添1参照

2) ファンドレイジング・スクール

アドバンス研修 6 講座、選択必修 6 講座、15 回の応用ゼミを行い、17名が修了した。今期のリアルケ

ースタディにおいては、スクール生によるファンドレイジング戦略策定の提案が評価され、またその間の信頼関係の構築により、スクール修了後も、有償での「チーム型伴走支援」が継続している。

3) 外部講師派遣

ファンドレイジングの基礎から専門的な内容まで、講演の依頼を受け、当会理事ないし職員を18回派遣した。

派遣実績は別添1参照

2. ファンドレイジング・日本

「ファンドレイジング・日本2019」を2019年9月14日・15日に開催。記念すべき第10回大会として大成功を収めた。

チャプター、講師、協賛社、ボランティア、認定・准認定ファンドレイザーの各立場からなる価値向上プロジェクト実行委員会の立ち上げによる参加型の大会運営や、協賛社との次世代ソリューションプロバイダーのアイデアコンテスト【IDEAS for IMPACT 2019】の実施など、新たなチャレンジな取組みを行なった。

「ファンドレイジング・日本2019」実施概要

- 大会テーマ：「課題『解決』先進国を目指して」
- 開催日：2019年9月14日（土）、15日（日）
- 場所：駒澤大学駒沢キャンパス・3号館（種月館）および記念講堂
- 参加者数：1,674名
- セッション数：65セッション
- 講師：130名
- 協賛社：34社

3. 寄付白書事業

寄付へのポジティブな社会文化の醸成として、次の寄付白書『寄付白書2021』の出版に向けて下記の通り企画立案を行なった。2020年度内の委員会立ち上げを見越して委員候補へのヒアリングを行なった。

※以下、2020年3月時点案。

- 調査対象年を2020年1～12月として寄付白書2021として出版
- 前回予算規模(約800万円※2事業年度分)の8割規模の予算設定
- 推計、単純集計と社会的投資と10年振り返り特集など
- 製本は限りなく簡素化も目指す
- 出版年月は、2021年10月

コンテンツ構成

- 推計、単純集計、社会的投資、10年振り返り特集、付録

スケジュール

- 2020年1～3月 予算編成、4～5月 事業計画の詳細策定、6月 発行研究会立ち上げ
- 6～12月 研究会(詳細方針確定、内容、調査項目の検討、調査以外部分執筆)
- 7～9月 GJ基金集め準備、11～12月 クラウドファンディング
- 2021年2月 実査、4月 集計納品、6月 推計、集計部分の原稿執筆、7月 原稿納品、8～9月 校正、10月 出版

実施体制

- ・ 編集:日本ファンドレイジング協会
- ・ 執筆:寄付白書発行研究会
- ・ アドバイザー・コラム執筆者など

4. 寄付市場創造事業

1) 社会貢献教育

1. 学校連携強化

東京都教育庁と連携した「都立高校生への社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」で都立高校への横展開を進め、9校・42クラス・1,494名の生徒に向けてプログラム提供を行なった。また、武蔵大学社会学部・粉川教授の協力のもと、プログラムの成果評価も行き、受講生徒の社会貢献意識の醸成、ポジティブな感情の醸成などに寄与していることが分かった。

・ 実施現場の確保と拡大

東京都教育庁との連携により都立高校での開催件数が増えた他、協会直受けでの継続実施校や社会貢献教育ファシリテーターが独自に確保し展開する学校やイベントでの実施も増えており、ファシリテーターの数に比例して様々な現場での拡大がなされた。

社会貢献教育の現場

No.	都道府県	実施プログラム	学校名・イベント名	学年	教室数	参加者
1	宮城県	寄付の教室	石巻市立桜坂高等学校	3年生	1	12
2		社会に貢献するWS	尚絅学院大学	1年生	1	70
3		寄付の教室	尚絅学院大学	1年生	1	70
4	茨城県	寄付の教室	イベント・茨城県高等学校文化連盟	1~2年生 (高校)	1	89
5		寄付の教室	イベント・日本赤十字社茨城県支部JRC部	1~3年生 (高校)	1	50
6	東京都	社会に貢献するWS	都立両国高等学校	1年生	5	200
7		社会に貢献するWS	都立基師商業高等学校	2年生	6	198
8		社会に貢献するWS	都立荒川商業高等学校	3年生 (定時制)	1	4
9		社会に貢献するWS	都立足立西高等学校	3年生	5	189
10		寄付の教室	都立足立西高等学校	3年生	5	189
11		寄付の教室	都立町田総合高等学校	2年生	6	220
12		寄付の教室	都立高島高等学校	3年生	1	29
13		寄付の教室	都立高島高等学校	3年生	1	32
14		社会に貢献するWS	都立小山台高等学校	2年生 (定時制)	1	13
15		社会に貢献するWS	都立武蔵野北高等学校	1年生	6	240
16	神奈川県	寄付の教室	神奈川県立横浜南陵高等学校	2年生	2	30
17		寄付の教室	神奈川県立横浜南陵高等学校	2年生	2	30
18		寄付の教室	神奈川県立湘南台高等学校	3年生	1	10
19	愛知県	寄付の教室	名古屋女子大学中学校/高等学校	3年生 (中学)	4	69
		社会に貢献するWS				
20	岡山県	社会に貢献するWS	岡山学芸館高校	1~2年生	1	40
21	山口県	寄付の教室	イベント・特定非営利活動法人あっと	3~5年生 (小学校)	1	20
22	福岡県	寄付の教室	糸島市立前原西中学校	1年生	1	30
23		寄付の教室	イベント・糸島市社会福祉協議会	5~6年生	1	17
24		寄付の教室	北九州市立徳力小学校	4年生	2	77
25		寄付の教室	北九州市立朝ヶ谷小学校	4年生	1	32
26		寄付の教室	北九州市立折尾西小学校	6年生	3	84
27		寄付の教室	北九州市立筒井小学校	4年生	1	36
28		寄付の教室	北九州市立折尾愛真高等学校	1年生	1	17

2. ファシリテーターの育成とコミュニティ化

ファシリテーター研修 (基礎研修) に加え、スキルアップ研修 (上級) を提供し技能向上を図った。しかしながら、ファシリテーターの同士の交流とコミュニティの構築については未着手となり、次年度への持ち越しとなった。

社会貢献教育ファシリテーター研修／スキルアップ研修

研修名	日時	参加者	満足度平均
社会貢献教育ファシリテーター研修	2019年5月15日（水）10:00-17:00	4名	5
社会貢献教育ファシリテーター研修	2019年8月9日（金）10:00-17:00	16名	4.2
社会貢献教育ファシリテーター研修	2019年10月11日（金）10:00-17:00	11名	4.3
社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	2019年10月17日（木）10:00-12:00	3名	5
社会貢献教育ファシリテーター研修	2020年1月24日（金）10:00-17:00	22名	4.59
社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	2020年1月25日（土）13:00-16:00	15名	5

3. 推進委員会の立ち上げ

これまで社会貢献教育事業の展開にて中心的役割を果たした方々を中心に、社会貢献教育推進のための委員会を立ち上げ、社会貢献教育ポータルサイトの構築をメインにその後の社会貢献教育の全国化に向けた施策の検討を行なった。

委員（五十音順）：

- 馬越裕子（コモンズ投信株式会社・SEEDCAP担当）
- 小川愛（日本ファンドレイジング協会・事務局次長）
- 菅井洋史（日本赤十字社茨城県支部組織振興課・係長）
- 高橋優介（合同会社Dialogger CSR・SDGs推進事業部・統括部長）
- 遠山晶子（生き方のデザイン研究所・代表理事）
- 橋ヶ谷多功（岡山学芸館高校・教諭）
- 橋爪智子（日本補助犬情報センター・専務理事兼事務局長）
- 藤木正史（東京学芸大学附属国際中等教育学校・教諭）
- 船崎美智子（ライフスタイル協同組合・代表理事）
- 吉村敏（ボーイスカウト日本連盟教育開発部・部長）
- 米原裕太郎（京都市ユースサービス協会・チーフユースワーカー）

期間：2019年11月～2020年3月（計5回開催）

4. 支援獲得のための具体的施策の実行

2019年12月～2020年1月にかけて、社会貢献教育ポータルサイト構築を目的としたクラウドファンディングを実行し、120名から1,603,000円のご寄付を頂いた。同事業を継続的に支援していただくための仕組み「社会貢献教育サポーター」には、17名の方々にご参加頂くことができ、332,000円のご寄付を頂いた。加えて、当事業に対して3名の方々から350,000円の個別のご寄付を頂き、全体としては2,322,722円のご寄付となった。

5. 社会貢献教育ポータルサイトの構築

推進のための委員会にて、5回の検討を経て、制作を進め2020年3月末、次年度の公開につなげた。イベント、事例、実践者、教材などのコンテンツで構成。

2) 遺贈寄付の推進

設立3年目を迎える全国レガシーギフト協会への運営協力体制を全国コミュニティ財団と協働で実施するとともに、以下の事業を主軸として行ない、日本社会での遺贈寄付の推進を行なってきた。

1. 年賀寄附金助成活用による受遺団体の機能強化につながるための研修、イベントの実施

2019年度は年賀寄附金の助成を受け以下のように5回の研修を実施した。

研修名	実施日時・会場
一般社団法人全国レガシーギフト協会第一回相談窓口研修会「遺贈寄付が進む社会を創る戦略」	2019年6月24日 NLP JAPAN ラーニングセンター 東京オフィス

	セミナールーム
FRJ 2019 「遺贈寄付を受ける準備 できていますか？寄付者の意思と団体のミッション実現のために、明日からすべきこと」 「不動産の寄付・遺贈を「よくわからない」で諦めない！明日からできる不動産寄付・遺贈の受け入れと活用」	2019年9月14, 15日 駒澤大学 (ファンドレイジング・日本 2019セッションとして実施)
士業向け遺贈寄付アドバイザー研修	2019年10月18日 10:00-16:00 国立オリンピック記念青少年総合センター
NPO向け遺贈寄付研修	2019年10月18日 13:00-16:00 国立オリンピック記念青少年総合センター
受遺団体向け遺贈寄付アドバンス研修 「遺贈寄付を取り巻くトレンドの理解と次の一手の打ち出し方」	2020年1月24日（金）13:30-17:00 日本財団ビル

- ・ 12月4日には、日本で初の「全国レガシーギフト・フォーラム2019」を全国レガシーギフト協会と共同開催し、110人に来場いただいた。遺贈寄付を知り行なっていただく、受け取っていただく、執行のお手伝いをする、受け取るといった様々な立場の方が集い、遺贈寄付についての理解を深める大きな一歩となった。

2. アドバンス研修コンテンツの作成支援

全国レガシーギフト協会では主催企画として遺贈寄付サロン（6月・8月・10月・12月に実施）を実施することにより、遺贈寄付に対する知見、ノウハウや事例を蓄積してきている。その蓄積された知を基に、全国レガシーギフト協会の理事を中心により実践的に役立つ内容を体系化したアドバンス研修コンテンツを開発し、1月24日（金）に全国レガシーギフト協会、日本ファンドレイジング協会の共催で研修を実施することができた。

3. 助成金獲得による事業展開支援

士業や一般市民へ広く遺贈寄付の普及啓発・周知すると同時に、全国レガシーギフト協会の自走に向けてのファンドレイジングを支援。その一つが年賀寄付金の獲得であり、会員獲得となった。

- ・会員としてのレガシーアンバサダー、サポーター制度の拡充を支援（2月末現在）
- ・レガシーサポーター：9人
- ・アドバンスレガシーパートナー：4団体
- ・レガシーパートナー：11団体

3) 寄付月間

2015年よりスタートした、寄付啓発のキャンペーンである寄付月間。5周年を迎えた「寄付月間2019」では、パートナー及び公式認定企画ともに過去最大規模となり、パートナー647法人、公式認定企画176件になり全国47都道府県にて様々な取組みが実施された。また、今回の寄付月間の企画に関して、以下の特徴が挙げられる。

- ①寄付月間アンバサダーが全47都道府県にいることにより、地域開催企画も100以上に増加
- ②自然災害をきっかけに生まれた被災地支援・被災地主催企画が増加
- ③遺贈寄付をテーマに扱った企画の増加
- ④SDGsを取り上げて、寄付と連携させた企画が増加

上記に加えて、毎年の継続的な参加も増え、寄付の啓発キャンペーンとしてのひとつの「形」が広がり、寄付文化の醸成に向けて効果があったものと考えられる。

5. 社会的インパクトセンター

2019年度は、年間を通して、社会性認証評価事業や休眠預金資金分配団体向けP0研修、岡山市SIBなど社会的インパクト評価・投資の促進に向けた評価モデルや研修モデルを一から作るような新たな試みへの挑戦に比重を置き、モデル作りやエコシステム醸成を中心に調査・研究、事業開発を実施した。また、年々増加する現場の評価ニーズにも呼応し、研修等を実施した。主な実績は以下の通りである。

1) 評価・研修モデル作り関連

「令和元年度社会性評価・認証制度に係る調査・実証事業」を内閣府より受託し、事業者や投資家が社会性/インパクト評価に活用できる評価モデルを作成するために海外調査を実施し、調査に基づき評価モデル案を立案し、実証事業を行なった。

GSG国内諮問委員会より、「社会性評価・認証モデルプロジェクト」を受託し、内閣府調査とシナジーさせ、特に投資家コミュニティと社会性認証・評価のあり方について意見交換を行なった。

休眠預金資金分配団体向けP0研修の企画・運営業務を行い、多種多様な背景を持つ参加者向けに研修をコーディネート・運営した。

2016年6月に設立された、社会的インパクト評価を推進するためのプラットフォーム「社会的インパクトマネジメントイニシアチブ(SIMI)」の運営事務局メンバーの一員として活動を行ない、Social Impact Day2019の開催や新たなツールセットの開発等の活動を推進した。

2) 社会的インパクト投資関連

新規案件として岡山市のソーシャルインパクトボンド事業「岡山市生涯活躍就労支援事業」の中間支援組織業務を受託した。

ソーシャルインパクトボンド関連の継続事業として、佐倉市でのモデル事業実施2年目(厚生労働省からの受託)や、池田市での評価モデル構築および評価業務を実施した。

3) 社会的インパクト評価・事業評価関連

NPOの中間支援組織が実施しているプログラム評価を受託し、主に定性調査を中心とした評価を実施した。

「こども宅食」のコンソーシアムメンバーとして社会的インパクト評価を実施した。

平成30年度に厚生労働省からの補助事業で実施・作成した「障害者芸術文化活動普及支援ガイド」活用のためのワークショップを、同事業の全国会議やブロック会で3回実施した。

千葉県からの依頼で社会的インパクト評価や組織評価に関する研修を実施した。

休眠預金資金分配団体からの休眠預金事業の評価伴走依頼により、実行団体向けの評価研修を実施した。

協会事業である社会貢献教育の成果の見える化にむけて、社会貢献教育チームと評価デザイン・手法の検討を行なった。

「評価の研修をやってもらいたいという地域のニーズがある」、でも「現場と評価が遠い」というチャプターや評価伴走経験者からの声をもとに、草の根的な活動をしている団体や、資金規模が大きくなってでも出来る団体への研修として、同規模感で評価を取り入れている団体と評価伴走者によるパネルディスカッションスタイルの研修を10月・11月に関西・東京で実施した。

上記に加え、外部からの依頼に基づき、単発で社会的インパクト評価や事業評価に関する研修を複数行なった。

6. 新規事業

1) 共感ファシリテーションラボ

新機軸の事業として、共感ファシリテーション力の獲得に特化した研修事業の立ち上げに着手した。今年度は、パイロット研修として以下3回の研修を企画し、うち2回を実施した。新規事業2020年度に向けての方向性の確認とニーズ把握を行なうことが出来た。

また、「共感ファシリテーション」での商標申請も行なった。

■共感力の本質～人、組織の可能性を無限大に広げる「共感」の極意～

講師：鶴尾雅隆（日本ファンドレイジング協会・代表理事）

日時：2020年1月16日（木）19:00～21:00

場所：ベルサール飯田橋Room1

参加者：43名

満足度：4.35

■社会イノベーションに必要な「共感力」

講師：有馬 充美（2018 Harvard Advanced Leadership Initiative Fellow、西武鉄道株式会社・社外取締役、株式会社プリンスホテル・社外取締役、京都大学法学部卒業、Harvard Business School（MBA）修了、日本ファンドレイジング協会・理事）

日時：2020年1月22日（水）19:00～21:00

場所：ベルサール飯田橋Room1

参加者：30名

満足度：3.67

■（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催延期）「自己理解」と「他者理解」の実践術

講師：山元 圭太（合同会社喜代七・代表／日本ファンドレイジング協会・理事／認定ファンドレイザー／NPO法人おっちラボ・理事／島根県雲南市・地方創生総合戦略推進アドバイザー、）

日時：2020年3月19日（木）19:00～21:00

場所：ベルサール飯田橋Room1

7. 組織運営

1) 広報活動

当会の活動内容や参加の方法を伝える内容や、寄付・ファンドレイジングについての正確な理解を広めるために、オンラインジャーナル・メルマガ・Facebook等のツールを使った情報発信を行なった。また、メディアからの取材依頼を積極的に受けた。主な実績は以下の通りである。

オンラインジャーナルは、トップランナーへのインタビュー、ファンドレイジングに関する最先端なトピックスなど、全 144 本を掲載。そのうち、32 本を弊協会会員限定記事として掲載。メルマガは年間28本を発行し、Facebookではタイムリーに情報発信を行なった。

メディアからの取材は、寄付や社会的インパクト投資の必要性や可能性など、寄付そのものへの理解促進を図るものの依頼が多く、寄付の好意的な理解を広げることができた。

掲載実績は別添2参照

2) ビジョパートナーとの協働

10周年を記念して、日本社会で「寄付・社会的投資が進む社会の実現」を加速させるために、新たな発想とアイデアで取り組んで行くビジョンを共有する『ビジョパートナー』を新設し、下記の日本を代表する12人のリーダーの方々に就任いただいた。

2019年度は、ビジョパートナーの皆さんが「思い描いている未来」についてお伺いするインタビューを実施し、“Fundraising Journal Online” にシリーズ記事として掲載を開始した。有識者であるビジョパートナーの方々が思い描く未来を知るとは、よりよい社会の実現を目指すファンドレイザーにとっても大きな学びとなることから、会員限定のコンテンツとしてではなく、あらゆる人が読める記事として掲載している。

掲載記事：

堀田力氏（公益財団法人さわやか福祉財団・会長）（2019年11月9日～）

前野隆司氏（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科・教授）（2020年1月9日～）

3) 会員

会員数が1,900名を超え、寄付・社会的投資が進む社会の実現をともに推進する仲間が全国に増えた。団体会員においては、ゴールドパートナー、シルバーパートナーあわせて、スペシャルパートナーとして新たに4団体からの申し出があり、昨年度からの継続団体も含めて、計6団体となった。スペシャルパートナーの新たなチャレンジや、ファンドレイジングに活かせるサービスの紹介を、オウンドメディアで発信した。また、新たなチャレンジャーの発掘、応援し合う場づくりとして、会員限定のサロンを3回不定期に開催した。

	運営会員（個人）	賛同会員（個人）	賛同会員（団体）	合計
2019年度末	62	1,779	72	1,913

ファンドレイジング・サロンの開催

ファンドレイジングの最新事例とファンドレイザーや会員のチャレンジを可視化する内容で3回開催した。軽食をとりながらの参加しやすい雰囲気・構成にし、参加者同士の交流を促す場として、実施した。

開催日	タイトル	スピーカー
2019年 8月26日（月）	ファンドレイジング・サロン2019（IDEAS for IMPACT 2019連携イベント）	尾倉 侑也（一般社団法人nukumo） 坂田 浩一（D-SHiPS32） 荒木 雄大（リタワークス株式会社） 小柴 優子（社会的投資推進財団） 田中 エミ（StudioTAGAN）
2019年 10月23日（水）	共感型リーダーシップを切り拓く人と組織の可能性～ハーバードで見出したこれからのリーダーの在り方～	有馬 充美（2018 Harvard Advanced Leadership Initiative Fellow、西武鉄道株式会社社外取締役、株式会社プリンスホテル社外取締役、京都大学法学部卒業、Harvard Business School（MBA））
2020年 1月27日（月）	誰もがどこでも出来る社会貢献教育を目指して～全国のファシリテーターたちは、いかに実践しているのか～	高橋 優介（NPO法人ezorock 事務局長） 遠山 昌子（一般社団法人生き方のデザイン研究所 代表理事・コーディネーター） 米原 裕太郎（京都市ユースサービス協会 チーフユースワーカー） 橋爪 智子（NPO法人日本補助犬情報センター 専務理事兼事務局長）

4) ボランティア

月例の「JFRAボランティアデー」の開催、ファンドレイジング・サロンなどの定期イベントの運営補助、3年連続で企画出店した「駒沢ふれあい広場なつまつり」の売り上げを「FRJ2019スカラシップ」への寄付にした他、ボランティア発案の企画として、寄付プラットフォームのsyncableを活用した「社会貢献教育」へのファンドレイジングをボランティアメンバーがリレー形式で継続的行なうなど、他の事業への協力もいただいた。2020年3月末時点のボランティア登録者数は330名。

5) 事務局体制

事務局長を含めて9名の常勤職員体制で業務を行い、年央から事務局次長を加え10人体制となった。その他、週1～2回のパートタイマー4人、派遣社員1名（9月～2月）、インターン1名（10月～2月）体制で事

業を行なった。

6) 総会開催

2019年6月3日に2019年度の通常総会を開催。前年度の決算と事業報告、今年度の予算と事業計画、役員
の承認などを決議した。開催後には対話型トークセッション【Road to 2030 寄付とファンディング
の「未来」を語り尽くす！ ―セオリー・オブ・チェンジ2030が描く未来―】を開始。「10周年宣言」を
具体化し、寄付・社会的投資が進む社会の実現に向けた2030年までのロードマップ「セオリー・オブ・チ
ェンジ2030」を発表し、そこに込められた2030の未来への思いについて参加者と語り合う場となった。

7) 理事会開催

今年度は以下の5回の理事会を開催した。

■第47回 2019年5月17日

2018年度決算報告と監査報告

2019年度事業計画

■第48回 2019年6月3日

代表理事・副代表理事の互選について

■第49回 2019年9月3日

2020年度事業計画および予算案について

臨時総会開催について

監事の樽本氏への業務委託について

■第50回 2019年11月14日

夏季休暇取得に関わる就業規則変更について

■第51回 2020年3月12日

2020年度事業計画と暫定予算計画

鴨崎常務理事の業務分掌変更、それに伴う役員報酬について

別添1

認定・准認定ファンドレイザー必修研修実施実績

研修日	種別	開催場所	主催・共催
4月6日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
4月14日	准認定ファンドレイザー必修研修	岡山県	中国チャプター
4月27日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
5月9日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
5月12日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
5月12日	准認定ファンドレイザー必修研修	大阪府	関西チャプター
5月21日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
7月18日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
9月13日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
9月28日	認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
10月1日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
10月3日	認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
10月6日	准認定ファンドレイザー必修研修	北海道	北海道チャプター
10月19日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
10月19日	准認定ファンドレイザー必修研修	長崎県	九州チャプター
10月20日	准認定ファンドレイザー必修研修	大阪府	関西チャプター
10月20日	准認定ファンドレイザー必修研修	愛知県	東海チャプター
10月21日	准認定ファンドレイザー必修研修	宮城県	東北チャプター
11月2日	准認定ファンドレイザー必修研修	静岡県	静岡チャプター
11月3日	准認定ファンドレイザー必修研修	島根県	中国チャプター
11月7日	准認定ファンドレイザー必修研修	東京都	日本ファンドレイジング協会
3月28日	准認定ファンドレイザー必修研修	ライブ配信	日本ファンドレイジング協会

選択研修実施実績

■選択研修-動画学習

研修内容	主催・共催	ポイント数
はじめよう！ファンドレイジング入門	日本ファンドレイジング協会	1
コミュニケーション～聞く人の心を動かすプレゼンテーション～	日本ファンドレイジング協会	2
組織管理～寄付拡大に向けたボランティアマネジメント～	日本ファンドレイジング協会	2
寄付付き商品の事例から探る企業連携	日本ファンドレイジング協会	2
非営利団体における収益事業の戦略設計	日本ファンドレイジング協会	2
寄付の「ホント」を寄付白書から学ぼう！	日本ファンドレイジング協会	2
幅広い支援を得るために必要な社会的インパクト評価とは	日本ファンドレイジング協会	2
ITコミュニケーション～クラウドファンディングを中心に～	日本ファンドレイジング協会	2
NPOが遺贈寄付をうけるための準備	日本ファンドレイジング協会	2
遺贈寄付で重要となる法務・税務編	日本ファンドレイジング協会	2
ファンドレイジングのリスク管理とファンドレイジング行動基準	日本ファンドレイジング協会	2
ファンドレイザーのキャリア論	日本ファンドレイジング協会	2
助成金をてこに成長するファンドレイジング	日本ファンドレイジング協会	2
ファンドレイジングの視点から見た寄付税制活用法	日本ファンドレイジング協会	2

■選択研修:日本ファンドレイジング協会主催

研修日	研修内容	開催場所	主催・共催	ポイント数
4月24日	寄付の「ホント」を寄付白書から学ぼう！～寄付白書2017を読み解こう～	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
4月24日	ロールプレイで体感！信頼を得るための対面コミュニケーション基礎編	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
5月10日	戦略的ファンドレイジングのためのマーケティングとは？	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
5月11日	感動と共感がコソ～地域における「志」金循環 FRJのベストプラクティクスから学ぶ	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
5月11日	1日でマスター！戦略的ファンドレイジング基礎	東京都	日本ファンドレイジング協会	5
5月15日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	6
5月16日	ファンドレイジングに必要な「伝えたい」を「伝わる！」に変える最強のコミュニケーション術	東京都	日本ファンドレイジング協会	5
5月22日	ケーススタディから学ぶ、経営戦略フレームワークに基づいたファンドレイジング戦略とは？	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
5月23日	より良い事業づくりに使える評価を学ぼう	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
5月23日	企業と連携して社会的課題を解決するには	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
6月5日	ケーススタディから学ぶ、効果的な寄付会費プログラムとは？	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
7月3日	ケーススタディから学ぶ、ファンドレイジングにつながる効果的なITコミュニケーションとは？	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
7月13日	自団体に適した助成金申請を作成してみよう！	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
8月9日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	6
8月26日	ファンドレイジング・サロン2019	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
9月13日	日本赤十字社ファンドレイジングセミナー2019	東京都	日本ファンドレイジング協会	5
9月14日	ファンドレイジング・日本2019	東京都	日本ファンドレイジング協会	9
10月11日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	6
10月16日	1日でマスター！戦略的ファンドレイジング基礎	東京都	日本ファンドレイジング協会	5
10月17日	社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
10月18日	NPO向け遺贈寄付研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
10月18日	士業向け遺贈寄付アドバイザー研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	5
10月20日	戦略的クラウドファンディングの基礎講座～支援を一過性で終わらせない！～	東京都	日本ファンドレイジング協会	2

10月20日	非営利団体における収益事業の戦略設計～共感と参加で考える～	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
10月23日	共感型リーダーシップが切り拓く人と組織の可能性	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
10月28日	評価、やってみただけ怖くなかったー現場団体から学ぶ、評価の第一歩	大阪府	日本ファンドレイジング協会	3
11月6日	評価、やってみただけ怖くなかったー現場団体から学ぶ、評価の第一歩	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
11月8日	組織マネジメント研修～ミッション達成に必要な組織のあり方～	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
12月4日	全国レガシーギフト・フォーラム2019	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
12月17日	失敗事例から学ぶファンドレイジングの本質	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
1月16日	共感力の本質～人、組織の可能性を無限大に広げる「共感」の極意～	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
1月22日	社会イノベーションに必要な「共感力」	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
1月24日	受遺団体向け遺贈寄付アドバンス研修 —遺贈寄付を取り巻くトレンドの理解と次の一手の打ち出し方	東京都	日本ファンドレイジング協会	3
1月24日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	6
1月25日	社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	東京都	日本ファンドレイジング協会	4
1月27日	ファンドレイジング・サロン「誰もがどこでも出来る社会貢献教育を目指して～全国のファシリテーターたちは、いかに実践しているのか～」	東京都	日本ファンドレイジング協会	2
3月31日	戦略的クラウドファンディングの基礎講座～支援を一過性で終わらせない！～	ライブ配信	日本ファンドレイジング協会	2

■選択研修:チャプター関連

研修日	研修内容	開催場所	主催・共催チャプター	ポイント数
4月7日	ファンドレイザーのキャリアと実務	佐賀県	九州チャプター	2
4月13日	みんなで作る財団おみやげについて知る！学ぶ！観察する	岡山県	中国チャプター	3
5月7日	赤バインダーふりかえり研修	岡山県	中国チャプター	2
5月8日	日本の高等教育機関への寄付の現状・課題・展望	東京都	大学チャプター	1
5月10日	仲間と資金が集まる、社会を良くする活動の作り方講座	愛知県	東海チャプター	2
5月11日	お金が無いで終わらせない！福祉活動における財源確保の方法	愛知県	東海チャプター	2
5月11日	ソーシャル団体伴走支援・最終報告会	愛知県	東海チャプター	3
6月28日	米国に学ぶ～米国ファンドレイザーの体験談を聞く・その1～	東京都	大学チャプター	2
6月30日	エンターテインメントとファンドレイジングについて	大阪府	関西チャプター	2
7月5日	市民活動団体向けファンドレイジング講座共感の連鎖を生む「お金」の集め方	愛知県	東海チャプター	2
7月6日	静岡と寄付の未来を考える	静岡県	静岡チャプター	3
7月7日	すみだ北斎美術館で考える「北斎の魅力、アートの資金調達」	東京都	アートチャプター	3
8月1日	研究クラウドファンディングの理論と実践～成功までの7つのステップ～	東京都	大学チャプター	2
8月10日	「お金がないで終わらせない」地域課題解決と資源調達	熊本県	九州チャプター	3
8月25日	「お金ください」って言えますか？ —好きを事業にするために心のブレーキを外す方法—	北海道	北海道チャプター	2
8月26日	大学の周年事業を成功に導く！シリーズ・その1～ゼロから始めた職員が語る“押さえておくべきポイント”～	東京都	大学チャプター	2
9月19日	ファンドレイジング・日本2019シェア勉強会@静岡	静岡県	静岡チャプター	2
9月26日	米国に学ぶ～米国ファンドレイザーの経験談を聞く・その2～	東京都	大学チャプター	2
9月28日	ファンドレイジング・日本2019(FRJ2019)振り返り会	愛知県	東海チャプター	3
9月28日	借金嫌いは損をする？NPOのお金の借り方第1歩	北海道	北海道チャプター	3
9月28日	FRJ振り返り会	京都府	関西チャプター	2
10月6日	FRJ振り返り会	福岡県	九州チャプター	3
10月22日	北の国のファンドレイザー～北海道でファンドレイザーのキャリアを描く～	北海道	北海道チャプター	2
10月25日	「NPOの発信力を強化しよう!」1分間で、相手のハートをぐっとつかむ、奇跡の話術	北海道	北海道チャプター	2

10月27日	社会的インパクトを伸ばす評価の役割	北海道	北海道チャプター、NPO法人北海道NPOサポートセンター	2
11月2日	FRJ2019振り返り会	島根県	中国チャプター	2
11月2日	第15回ファンドレイジング研究会「1日でマスター戦略的ファンドレイジング基礎研修」	大阪府	関西チャプター	5
11月4日	FRJ2019振り返り会～気づきや出会いを共有しよう！	北海道	北海道チャプター	2
11月4日	准認定ファンドレイザー必修研修の学び直し会	北海道	北海道チャプター	3
11月13日	世界で活躍するファンドレイザーから学んだこと～IFC2019参加報告会	東京都	グローバルチャプター	2
11月13日	お金の使い方社会貢献を考えよう	宮城県	東北チャプター	1
11月23日	視察ツアー	岩手県	東北チャプター	4
12月14日	SDGsとファンドレイジングを考える	京都府	関西チャプター	3
2月8日	認定ファンドレイザー鎌倉幸子さんからファンドレイジングを学ぼう！	宮城県	東北チャプター	2
2月23日	市民力で拓くファンドレイジングセミナー～おもちゃ美術館の「参加型」ファンドレイジングとは～	奈良県	関西チャプター	3
2月25日	ふるさと納税企業版を活用した大学のファンドレイジングを考える	東京都	大学チャプター	2

■選択研修：パートナー団体

研修日	研修内容	開催場所	主催・共催	ポイント数
4月11日	事業成功に欠かせない知識と技術「プロジェクト・マネジメント実践」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
4月11日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
4月12日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
4月17日	心を動かす言葉、行動を促す文章をみがく「キャッチコピー制作ゼミ(基礎)」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
6月19日	ストーリーが浮かぶ広報コンテンツをつくる「グラフィックレコーディング活用ゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
6月25日	組織のミッション達成につなげる「メールマーケティング・メルマガ戦略ゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
6月27日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
6月28日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
7月16日	小さな組織の「SNS 情報発信チームづくり」プログラム	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
8月5日	普段の会議が劇的に変わる！「ファンリテーションを支える会議の技術」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	4
8月27日	現場から政治、行政を動かす施策を考える「政策提言アプローチの事業戦略ゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
8月29日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
8月30日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
9月11日	NPOマネジメント支援コンサルタント養成講座	東京都	公益財団法人パブリックリソース財団	15
9月13日	NPO法人の手続き・事務を1日で学ぶ「NPO法人事務力」セミナー	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	7
10月1日	意義を問い直し、成長させる「ソーシャルな事業のための基本戦略づくり」ゼミ	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
10月3日	大阪salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
10月4日	大阪salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6

10月17日	変化が生まれる事業のカギはいつも現場にある！「社会的インパクト・マネジメントゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
10月24日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
10月25日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
11月13日	厳しいルールに対応し、月1万ドルを成果につなげる運用ノウハウ！「Google Ad Grants 目標達成ゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
11月20日	事業成功に欠かせない知識と技術「プロジェクト・マネジメント実践」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
12月3日	活動の成果を測る、サービス改善を図るための「アンケート / ヒアリング実践プログラム」(団体プラン対応ゼミ)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
12月19日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
12月20日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
1月22日	CRM × ファンドレイジングを徹底解説！～ 支援者管理 (DRM : Donor Relationship Management) の考え方の基礎 ～ (団	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
1月23日	変化が生まれる事業のカギはいつも現場にある！「社会的インパクト・マネジメントゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
2月5日	「社会課題解決 × ムーブメント」を導くリーダーシップ！システム思考(基礎)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	8
2月20日	チームのみんなで考える事業戦略「基礎から学ぶ中期事業計画作成ゼミ」	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	9
2月25日	伝える、選ばれるための言葉をみがくキャッチコピー入門	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	2
2月27日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(初級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
2月28日	salesforceNPO実践1DAY速習コース(中級編)	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	6
3月17日	災害時における中間支援組織の12の役割・解説	東京都	特定非営利活動法人NPOサポートセンター	2

■選択研修:認定講師によるもの

研修日	研修内容	開催場所	主催・共催	ポイント数
6月5日	NPOのためのバースデードネーション活用講座	東京都	株式会社STYZ	2
6月23日	全附P連のファンドレイジングに関する研修会	東京都	全国国立大学附属学校PTA連合会	3
6月24日	助成金獲得の極意教えます!!助成金獲得セミナー 事業の未来に助成金を活用しよう!	東京都	株式会社ファンドレックス	2
7月11日	NPOのためのバースデードネーション活用講座	東京都	株式会社STYZ	2
7月12日	JCNE「トラスト&イノベーション」シンポジウム	東京都	一般財団法人非営利組織評価センター	3
7月24日	あの団体はどんなツールを使っているのか【Discover For Change】成功事例に学ぶ広報セミナー	東京都	株式会社ファンドレックス	2
8月16日	成果を生み出すロジックモデル講座「ビジョニング・SWOT分析」	沖縄県	認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人沖縄校	3
8月18日	成果を生み出すロジックモデル講座「振り返り」	沖縄県	認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人沖縄校	2
8月18日	成果を生み出すロジックモデル講座「ロジックモデル作成」	沖縄県	認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人沖縄校	4
9月24日	地域の共感を呼ぶお金の集め方	長崎県	特定非営利活動法人Fineネットワークながさき	2
9月24日	NPOのためのバースデードネーション講座	東京都	株式会社STYZ	2
10月4日	伴走支援者・伴走ファンドレイザー研修の開催について	北海道	認定NPO法人北海道NPOファンド	7

11月20日	ファンドレイジングの先事例から学ぶ「成功の秘訣」	東京都	株式会社ファンドレックス	2
11月27日	社会的インパクト・マネジメント研修	東京都	一般財団法人CSOネットワーク	8
11月27日	ファンドレイザー養成講座	富山県	一般社団法人なんと未来支援センター	12
11月29日	今日からできる！広報・ファンドレイジング講座	大阪府	かまくらさちこ株式会社/NPOのためのデザイン/ファンドレイジングのレシピ	2
12月16日	クラウドファンディングでよりよい社会をつくる、夢の実現を加速させる ～クラウドファンディング入門編	青森県	かまくらさちこ株式会社/NPOのためのデザイン/ファンドレイジングのレシピ	2
1月29日	NPOやソーシャルビジネスのコンサルタントとして独立したい人のための限定セミナー	東京都	株式会社ファンドレックス	2
2月28日	パースデードネーション！目指せ100人ミーティング	東京都	パースデードネーション！目指せ100人ミーティング	1

外部講師派遣実績

日程	講師派遣先	講師
4月25日	東洋大学国際学部国際地域学科 1年次生むけオムニバス講義「国際地域学基礎」	細貝朋央
5月8日	武生青年会議所 社会貢献教育講演	大石俊輔
5月10日	全国公益法人協会 東北地区定例講座	山崎庸貴
7月12日	JUNEシンポジウム	鵜尾雅隆
7月31日	yahoo基金審査委員会	鵜尾雅隆
9月10日	いきがい・助け合いサミット	鵜尾雅隆
10月25日	地域福祉を支えるヒト・モノ・カネ	久保匠
10月25日	日本福祉大学社会福祉学部 人間福祉専修「十人十色サロン」	久保匠
11月14日	ティーエム研究会	鵜尾雅隆
11月22日	事業性融資担当者育成講座	嶋崎貴泰
12月5日	地域循環共生圏構築支援全国ネットワーク構築のための全国検討会	久保匠
12月6日	京都・地域企業応援プロジェクト Community based companies in Kyoto	嶋崎貴泰
12月25日	令和元年度NPOマネジメント講座「遺贈寄付について」	山北洋二
1月6日	首都大学東京プレミアムカレッジ	小川愛
1月31日	今後の国立研究開発法人に求められる資金調達活動に関する検討会	鵜尾雅隆
2月5日	地域活動・NPO活動 基礎講座～夢をかなえる団体になるためにII～	久保匠
2月11日	第2回世界こどもホスピスフォーラムin YOKOHAMA	鵜尾雅隆
3月17日	あくるめ財団「ファンドレイジング入門」	宮下真美

別添2. 広報実績

掲載・出演日	媒体名	内容 / 出演者・執筆者
4月1日	公益法人4月号	「みんなでつくる課題「解決」先進国」 / 鴨崎 貴泰
4月8日	日本経済新聞朝刊	「(先輩に聞く) 寄付で社会課題を解決」 / 鶴尾 雅隆
4月29日	オルタナ第56号	「社会イノベーションとお金の新しい関係」 「ファンドレイジングトピックス」 / 鶴尾 雅隆 宮下 真美
5月13日	AERA	「研究費は寄付で集める」 / 鶴尾 雅隆
6月10日	さあ、言おう (さわやか福祉財団)	「新・ひとりごと」 / 鶴尾 雅隆
6月13日	読売新聞	「ネット寄付 医療の支え」 / 大石 俊輔
6月21日	日経MJ	「社会貢献はプライスレス」 / 鶴尾 雅隆
7月1日	mom	「楽しみながら「寄付」しよう」 / 鶴尾 雅隆
7月24日	オルタナ第57号	「社会イノベーションとお金の新しい関係」 「ファンドレイジングトピックス」 / 鶴尾 雅隆 宮下 真美
7月30日	(株) 日経エージェンシー	令和元年度版 よくわかる遺贈寄付 / 清水 潤子
10月	公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン 2019年度年次報告書	「クラウドファンディング緊急支援基金」 / 鶴尾 雅隆
10月14日	きらめきプラス Volunteer Vol. 79	「課題「解決」先進国を実現するために社会のお金の流れを変える」 / 鶴尾 雅隆
10月22日	国際協力キャリアガイド2019-20	「Special Interview 私たちにもできること」 / 鶴尾 雅隆
10月29日	日経MOOK「SDGs、ESG 社会を良くする投資」	「寄付が生み出す無数の価値 解決策のない社会課題に対し 寄付が先行モデルを生み出す」 / 鶴尾 雅隆
10月30日	オルタナ第58号	「社会イノベーションとお金の新しい関係」 「ファンドレイジングトピックス」 / 鶴尾 雅隆 宮下 真美
11月4日	AERA	「バブル世代が社会に恩返し 人生は有限だ 始めるならいま」 / 鶴尾 雅隆
12月1日	幸いな人	「寄付が生み出す力、その価値」 / 鶴尾 雅隆
12月3日	NHK「あさいち」	災害時の寄付金のギモン / 徳永 洋子
12月4日	朝日新聞デジタル	「今さら聞けない世界-「寄付大国」アメリカ 年30兆円超、背景にある精神」 / 宮下 真美
12月9日	AERA	「小児医療を支える寄付」 / 鶴尾 雅隆
12月11日	財界	「社会課題解決に不可欠な社会的インパクト投資 社会的リターンと経済的リターンの両立へ」 / 鶴尾 雅隆
12月25日	財界	「社会課題解決に競争原理を導入 市場原理とインパクト投資でサステナブルな社会へ」 / 鶴尾 雅隆
1月17日	オルタナ第59号	「社会イノベーションとお金の新しい関係」 「ファンドレイジングトピックス」 / 鶴尾 雅隆 宮下 真美
2月28日	オルタナ別冊「わがパーパス」	「社会のお金の流れを進化させる」 / 鶴尾 雅隆
3月号	S・A・I (埼玉県社会福祉協議会)	「ファンドレイジングを理解しよう」 / 宮下 真美

2019年度 収支決算報告

活動計算書

		[税込] (単位:円)	
特定非営利活動法人日本ファントレディング協会		自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日	
【経常収益】			
【受取会費】			
運営会員受取会費	1,432,000		
賛同会員受取会費	21,065,850	22,497,850	
【受取寄付金】			
受取一般寄付金	487,595		
Giving Japan基金	120,000		
寄付教育推進寄付	2,515,874	3,123,469	
【受取助成金等】			
受取助成金		5,825,008	
【事業収益】			
事業 収益		158,076,753	
【その他収益】			
受取 利息	201		
雑 収 益	11,000	11,201	
経常収益 計			189,534,281
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	40,404,437		
役員 報酬(事業)	4,800,000		
補助作業員給与	1,486,154		
通 勤 費(事業)	1,456,678		
法定福利費(事業)	6,437,578		
人件費計	54,584,847		
(その他経費)			
売上 原価	582,659		
業務委託費(事業)	54,313,135		
諸 謝 金	6,308,763		
印刷製本費(事業)	3,335,669		
会 議 費(事業)	2,782,295		
広告宣伝費(事業)	1,025,038		
旅費交通費(事業)	9,622,492		
通信運搬費(事業)	828,173		
備品消耗品費(事業)	1,429,811		
新聞図書費(事業)	15,048		
水道光熱費(事業)	283,277		
地代 家賃(事業)	4,049,990		
会 場 費(事業)	9,213,308		
減価償却費(事業)	1,031,702		
保 険 料(事業)	59,280		
租税 公課(事業)	5,501,500		
研 修 費(事業)	2,000		
支払寄付金(事業)	150,000		
その他経費計	100,534,140		
事業費 計		155,118,987	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	2,552,010		
補助作業員給与	232,297		
退職給付費用	228,000		
通 勤 費	106,651		
法定福利費	412,860		
福利厚生費	501,676		
人件費計	4,033,494		
(その他経費)			

会 場 費	23,320		
印刷製本費	450,203		
会 議 費	114,881		
旅費交通費	1,169,553		
業務委託費	8,849,619		
研 修 費	114,400		
通信運搬費	2,448,421		
備品消耗品費	1,008,254		
水道光熱費	47,803		
地代 家賃	683,447		
広告宣伝費	1,000		
新聞図書費	18,614		
減価償却費	221,965		
保 險 料	38,450		
諸 会 費	753,322		
租税 公課	157,350		
支払手数料	5,091,524		
支払 利息	383,628		
雑 費	110,830		
その他経費計	21,686,584		
管理費 計		25,720,078	
経常費用 計			180,839,065
当期経常増減額			8,695,216
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			8,695,216
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			8,625,216
前期繰越正味財産額			17,615,299
次期繰越正味財産額			26,240,515

貸借対照表

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2020年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	135,334		
普通預金	12,409,663		
現金・預金計	12,544,997		
(売上債権)			
未収金	38,573,022		
売上債権計	38,573,022		
(棚卸資産)			
棚卸資産	4,841,087		
棚卸資産計	4,841,087		
流動資産合計		55,959,106	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物附属設備	313,329		
什器備品	59,919		
有形固定資産計	373,248		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	199,487		
無形固定資産計	199,487		
(投資その他の資産)			
保証金	1,868,400		
退職給付引当預金	456,000		
差入保証金	10,965,000		
投資その他の資産計	13,289,400		
固定資産合計		13,862,135	
資産の部合計			69,821,241
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	15,534,728		
預り金	360,998		
未払消費税	4,129,000		
流動負債計		20,024,726	
【固定負債】			
長期借入金	23,100,000		
退職給付引当金	456,000		
固定負債計		23,556,000	
負債の部合計			43,580,726
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	17,615,299		
当期正味財産増減額	8,625,216		
正味財産計		26,240,515	
正味財産の部合計			26,240,515
負債・正味財産合計			69,821,241

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 全事業所	[税込] (単位: 円) 2020年 3月31日 現在
《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	135,334
普通預金	12,409,663
住信SBIネット銀行	(7,980,356)
三菱UFJ 1	(2,119,155)
三菱UFJ 2	(1)
ゆうちょ銀行	(6,791)
郵便振替	(1,462,039)
中国銀行	(1,297,321)
退職引当	(△ 456,000)
現金・預金 計	12,544,997
(売上債権)	
未収金	38,573,022
内閣府	(20,944,241)
岡山市 SIB業務委託	(16,841,990)
ケイシー 評価アドバイス	(330,000)
その他	(456,791)
売上債権 計	38,573,022
(棚卸資産)	
棚卸資産	4,841,087
ジャーナル	(125,268)
寄付白書	(1,538,289)
Giving Japan	(1,116,000)
ブックレット	(289,934)
寄付教育調査報告書	(57,909)
社会に貢献する	(271,817)
遺贈寄付ハンドブック	(271,161)
社会貢献教育ハンドブック	(166,104)
社会的投資市場形成に向けたロードマップ	(360,893)
遺贈寄付 最期のお金の活かし方	(177,760)
必修研修テキスト	(457,344)
その他	(8,608)
棚卸資産 計	4,841,087
流動資産合計	55,959,106
【固定資産】	
(有形固定資産)	
建物附属設備	313,329
パーテーション	(196,995)
電気工事	(52,382)
電気配線電話工事	(63,952)
什器 備品	59,919
コピー機	(1)
電話回線	(1)
看板	(35,277)
パソコン 8台	(24,640)
有形固定資産 計	373,248
(無形固定資産)	
ソフトウェア	199,487
オンラインジャーナル	(16,560)
スクールWebサイト	(81,911)
社会貢献教育ビデオ制作費	(101,016)
無形固定資産 計	199,487
(投資その他の資産)	
保証金	1,868,400
退職給付引当預金	456,000

差入保証金	10,965,000		
投資その他の資産 計	13,289,400		
固定資産合計		13,862,135	
資産の部 合計			69,821,241
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	15,534,728		
経費	(39,842)		
岡山市社会福祉協議会	(5,489,944)		
グロップ	(1,485,000)		
パソナ	(1,923,570)		
粉川一郎	(1,832,030)		
日本郵便株式会社	(3,659,992)		
その他	(1,104,350)		
預り金	360,998		
報酬等所源泉	(113,841)		
雇用保険料	(19,457)		
住民税	(227,700)		
未払消費税	4,129,000		
流動負債 計		20,024,726	
【固定負債】			
長期借入金	23,100,000		
日本政策金融公庫	(16,100,000)		
中国銀行	(7,000,000)		
退職給付引当金	456,000		
固定負債 計		23,556,000	
負債の部 合計			43,580,726
正味財産			26,240,515

財務諸表の注記

特定非営利活動法人日本ファントレヅング協会

2020年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

無形固定資産：定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【用途等が制約された寄付等の内訳】

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は26,240,515円ですが、そのうち0円は、下記のように用途が特定されています。

したがって用途が制約されていない正味財産は26,240,515円です。

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
受取寄付金					
Giving Japan	0	120,000	120,000	0	
寄付教育推進寄付	0	2,515,874	2,515,874	0	
受取助成金					
労働者健康安全機構	0	100,000	100,000	0	
日本郵便株式会社		169,008	169,008	0	
子ども宅食プロジェクト		4,156,000	4,156,000	0	
HSBC	0	1,400,000	1,400,000	0	
合計	0	8,460,882	8,460,882	0	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物附属設備	639,036	0	0	639,036	△ 325,707	313,329
什器 備品	3,006,556	0	0	3,006,556	△ 2,946,637	59,919
(無形固定資産)						
ソフトウェア	7,979,132	0	0	7,979,132	△ 7,779,645	199,487
(投資その他の資産)						
保証金	1,868,400	0	0	1,868,400	0	1,868,400
退職給付引当預金	228,000	228,000		456,000		456,000
差入保証金		10,965,000		10,965,000		10,965,000
合計	13,721,124	11,193,000	0	24,914,124	△ 11,051,989	13,862,135

【借入金の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	8,800,000		8,800,000	0
長期借入金	20,000,000	7,000,000	3,900,000	23,100,000
合計	28,800,000	7,000,000	12,700,000	23,100,000

2019年度 決算
事業別損益の状況

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日

科目	ファンドレイジング大会	ファンドレイジング育成事業	寄付白書	寄付社会創造事業	ソーシャルイノベーション	その他事業(委託等)	管理	内部取引消去	合計
【受取会費】									
運営会員受取会費	0	0	0	0	0	0	1,432,000		1,432,000
賛同会員受取会費	0	0	0	12,000	0	0	21,053,850		21,065,850
【受取寄付金】									
受取一般寄付金	148,160	0	0	0	0	10,000	329,435		487,595
Giving Japan基金	0	0	120,000	0	0	0	0		120,000
寄付教育	0	0	0	2,515,874	0	0	0		2,515,874
【受取助成金等】									
受取助成金	0	0		1,569,008	4,156,000	0	100,000		5,825,008
【事業収益】									
事業 収益	27,211,201	19,919,733	1,007,626	2,212,037	103,883,028	3,858,528	0	15,400	158,076,753
【その他収益】									
受取 利息	0	0		0	0	0	201		201
雑収益	0	0		0	0	0	11,000		11,000
経常収益 計	27,359,361	19,919,733	1,127,626	6,308,919	108,039,028	3,868,528	22,926,486	15,400	189,534,281
(人件費)									
給料 手当	8,424,584	10,654,683	264,442	5,731,332	15,329,396	0	2,552,010		42,956,447
役員 報酬	250,000	250,000	0	0	4,300,000	0	0		4,800,000
補助作業者給与	348,445	0	0	99,021	1,038,688	0	232,297		1,718,451
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	228,000		228,000
通勤 費	263,191	352,276	13,599	220,261	607,351	0	106,651		1,563,329
法定福利費	1,351,524	1,719,118	41,888	773,390	2,551,658	0	412,860		6,850,438
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	501,676		501,676
人件費計	10,637,744	12,976,077	319,929	6,824,004	23,827,093	0	4,033,494	0	58,618,341
(その他経費)									
期首棚卸高	0	51,980	3,238,930	1,506,440	0	626,396	0		5,423,746
期末棚卸高	0	△ 457,344	△ 2,654,289	△ 1,305,644	0	△ 423,810	0		△ 4,841,087
業務委託費	3,611,714	1,716,102	1,433	1,416,121	43,393,249	4,174,516	8,849,619		63,162,754
諸 謝 金	359,040	2,455,000	0	913,000	2,665,350	△ 83,627			6,308,763
印刷製本費	1,141,400	1,746,971	11,000	206,286	75,792	154,220	450,203		3,785,872
会 議 費	1,966,967	488,327	0	259,659	60,732	6,610	114,881		2,897,176
広告宣伝費	946,600	67,438	0	11,000	0	0	1,000		1,026,038
旅費交通費	1,685,850	1,613,347	0	2,706,373	2,258,488	1,358,434	1,169,553		10,792,045
通信運搬費	497,084	89,066	4,400	83,651	188	153,784	2,448,421		3,276,594
備品消耗品費	930,624	325,390	0	28,817	0	160,380	1,008,254	15,400	2,438,065
新聞図書費	0	0	0	15,048	0	0	18,614		33,662
水道光熱費	54,223	47,747	2,018	20,865	146,430	11,994	47,803		331,080
地代 家賃	775,223	682,640	28,856	298,301	2,093,499	171,471	683,447		4,733,437
会 場 費	5,561,687	2,661,649	0	680,792	309,180	0	23,320		9,236,628
減価償却費	40,161	545,050	99,360	0	347,131	0	221,965		1,253,667
保 険 料	39,000	0	0	10,270	0	10,010	38,450		97,730
諸 会 費	0	0	0	0	0	0	753,322		753,322
租税 公課	926,574	678,290	34,311	122,398	3,607,340	132,587	157,350		5,658,850
研 修 費	0	2,000	0	0	0	0	114,400		116,400
支払寄付金	0	0	0	150,000	0	0	0		150,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	5,091,524		5,091,524
支払 利息	0	0	0	0	0	0	383,628		383,628
雑 費	0	0	0	0	0	0	110,830		110,830
その他経費計	18,536,147	12,713,653	766,019	7,123,377	54,957,379	6,452,965	21,686,584	15,400	122,220,724
経常費用 計	29,173,891	25,689,730	1,085,948	13,947,381	78,784,472	6,452,965	25,720,078	15,400	180,839,065
当期経常増減額	△ 1,814,530	△ 5,769,997	41,678	△ 7,638,462	29,254,556	△ 2,584,437	△ 2,793,592	0	8,695,216

監査報告書

認定特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会
代表理事 鶴尾雅隆 様

私たちは、特定非営利活動促進法第 18 条の規程に基づき、認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会の 2019 年度（2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで）の業務監査及び会計監査を行った。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し、必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、ビデオライブ会議と電子データの事前送付の方法により、財務諸表等（活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記及び財産目録）と帳簿や証拠書類等との照合、質問等の合理的な保証を得るための手続を行った。

監査の結果、理事の業務執行は、法令、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、不正の行為または法令・定款に違反する重大な事実はないことが認められた。

また法人の財産状況は、NPO 法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められた。

以上のとおり報告する。

2020 年 5 月 8 日

監事

相浦圭太



同

樽本 哲

